

議会運営委員会の概要

1 6月定例会の招集見通しについて

- ・総務部長から、6月定例会は6月19日（火）に招集の見通しである旨説明があった。

2 6月定例会の会期と日程（見込み）について

- ・議事調査課長から、6月定例会の会期は6月19日（火）から7月6日（金）までの18日間の見込みであり、会期中の本会議、委員会の開催は別紙「6月定例会日程（見込み）」のとおりである旨説明がなされた。

また、「6月定例会日程（見込み）」について、ホームページで公表したい旨説明があり了承された。

3 その他

（1）府省との意見交換会の開催計画（案）について

- ・政策調査室長から、別紙「府省との意見交換会開催計画（案）」のとおり開催したい旨説明があり、了承された。

（2）公立高等学校及び県立中学校の入学者選抜における学力検査及び適性検査の解答用紙一斉点検調査の結果について

- ・教育長から、別紙「公立高等学校及び県立中学校の入学者選抜における学力検査及び適性検査の解答用紙一斉点検調査の結果について」により報告があり、陳謝がなされた。

【発言概要、質疑等】

（野川委員） 採点ミスの件数を見て驚いている。これだけあると単なる人為的ミスではなく、制度の問題だ。背景には教員の多忙化があると思うが、入試の採点は教員の主たる業務なのか。国の基準に照らしてどうか。

⇒（教育長）特に記述式の問題などは担当教科の教員である必要がある。また、学校ごとに採点基準が異なることなどから、第三者による採点は難しい。

（野川委員） 大学入試ではアウトソーシングが多い。一部導入すべきではないか。教員の多忙

化が解消されないと根本的に解決できない。外部の意見も聞いて検討してほしい。

(森谷委員) 過年度分の件数が多いが、責任の所在はどうなるのか。関係者の中には既に退職した者もいると思われる。現在の教員のみが責任を負うのか。

⇒(教育長) 退職者に対して懲戒処分はできないが、再発防止策の検討の後、しっかり対処したい。

(坂本委員) 受検から合格発表までの期間をもう少し長くすることはできないのか。

⇒(教育長) 3日間でやっていた時代もあったが、現在は授業もやりながら2日程度で行っている。神奈川県のように二人同時に採点する方式にすると間に合わないが、今のところ日程的に厳しいという話は聞いていない。

(後藤委員) 前回(平成30年度分)の報告でも数が多いと思ったが、更に多くなっている。

抜本的にどうやってなくしていくのか。また、いつまでにまとめて発表するのか。

⇒(教育長) 20件以上のミスがあった学校が多く、何が問題なのか分析する必要がある。また、社会のミスが多いなど、教科による差もある。ミスの多くは記述式の問題で起きており、採点基準と違う採点を行ったケースもあり分析する必要がある。本県は記述式の問題が多く、8割が記述式となっている。神奈川県では2割程度となっており、神奈川方式をそのまま当てはめることはできない。再発防止策については、当初、6月にもまとめたいと考えていたが、まずはしっかりと原因究明を行いたいと考えており、場合によっては6月は経過報告になるかもしれない。しっかりとした再発防止策を作りたい。

(後藤委員) 入試は子どもたちにとって真剣勝負であるのに、採点があまりにも杜撰である。

しっかりとした検討結果を出して、県民に安心感を与えてほしい。

(3) 小学校教諭の逮捕事案について

- ・教育長から、別紙「小学校教諭の逮捕事案について」により報告があり、県民に対し陳謝がなされた。

4 次回議運開催日時

6月13日(水) 午前10時

議 会 運 営 委 員 会 協 議 事 項

平成30年5月17日（木）

午前 10 時

- 1 6月定例会の招集見通しについて

- 2 6月定例会の会期と日程（見込み）について

- 3 その他

- 4 次回議運開催日時
6月13日（水）午前10時

平成30年 山形県議会 6月定例会日程（見込み）

会期：6月19日（火）～7月6日（金）〔18日間〕

〔平成30年5月17日現在〕

月 日	曜	議 会 日 程	開 始 時 刻	会 場
6月19日	火	会派協議会 ※	午前9時30分	議長応接室
		議会運営委員会	午前10時	議会運営委員会室
		本会議 (開会、議案上程、知事説明)	議会運営委員会終了後	議場
		議案説明会	本会議終了後	予算特別委員会室
20日	水	(議案調査日)	—	—
21日	木	会派協議会 ※	午前9時30分	議長応接室
		議会運営委員会	午前10時	議会運営委員会室
22日	金	本会議(代表質問)	午前10時	議場
23日	土	(休日)	—	—
24日	日	(休日)	—	—
25日	月	本会議(一般質問)	午前10時	議場
26日	火	(議案調査日)	—	—
27日	水	予算特別委員会	午前10時	予算特別委員会室
28日	木	予算特別委員会	午前10時	予算特別委員会室
29日	金	予算特別委員会	午前10時	予算特別委員会室
30日	土	(休日)	—	—
7月1日	日	(休日)	—	—
2日	月	会派協議会 ※	午前9時30分	議長応接室
		議会運営委員会	午前10時	議会運営委員会室
		本会議 (予算特別委員長報告、議案及び請願各常任委員会付託)	議会運営委員会終了後	議場
		各常任委員会における意見調整	本会議終了後	各委員会室
3日	火	総務常任委員会	午前10時	第1委員会室
		文教公安常任委員会		第2委員会室
		厚生環境常任委員会		第6委員会室
		農林水産常任委員会		第5委員会室
		商工労働観光常任委員会		第4委員会室
		建設常任委員会		第3委員会室
4日	水	総務常任委員会	午前10時	第1委員会室
		文教公安常任委員会		第2委員会室
		厚生環境常任委員会		第6委員会室
		農林水産常任委員会		第5委員会室
		商工労働観光常任委員会		第4委員会室
		建設常任委員会		第3委員会室
5日	木	未来を担う人材育成対策特別委員会	午前10時	第6委員会室
		県土強靱化・安全安心対策特別委員会		第1委員会室
		産業振興対策・働き方改革特別委員会		第2委員会室
6日	金	会派協議会 ※	午前9時30分	議長応接室
		議会運営委員会	午前10時	議会運営委員会室
		本会議 (各常任委員長報告、採決、閉会)	議会運営委員会終了後	議場

注1) 「協議又は調整の場」としての委員会等を含みます。なお、※の委員会は非公開となります。

注2) 上記日程は平成30年5月17日現在のものであり、日程の追加や変更がなされる場合がありますので十分ご留意願います。

平成30年度 第1回府省との意見交換会開催計画（案）

1 開催趣旨

県政の重要課題に関し、国の制度等への反映や新たな事業施策の展開や方向性等を探るとともに、議会政策提言への適時、的確な反映をはじめとした議会審議の充実や課題解決に資することを目的として、府省等との意見交換会を開催する。

2 開催日時等

日 時 平成30年6月15日（金） 13時30分から15時30分
場 所 東京都千代田区平河町 「都道府県会館」

3 出席者

県議会 議長及び1分科会あたり5名 計16名
府 省 関係局等の幹部職員等
執行部 関係部課長等

4 開催方法

テーマ別に3分科会を開催する。

<分科会のテーマ>

第1分科会「2020年東京オリンピック競技大会等を契機とした東北地方へのインバウンドの推進について」（国土交通省）

第2分科会「医師の偏在化対策等地域医療の充実について」（厚生労働省）

第3分科会「森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）の活用と地域の活性化について」（農林水産省）

5 分科会の構成

	議員氏名	備考
第1分科会 (5名)	座長 矢吹 栄 修	自由民主党
	金子 敏 明	県政クラブ
	加賀 正 和	自由民主党
	船山 現 人	自由民主党
	佐藤 藤 彌	自由民主党
第2分科会 (5名)	座長 佐藤 聡	自由民主党
	菊池 文 昭	公明党
	佐藤 昇	県政クラブ
	島津 良 平	自由民主党
	坂本 貴美雄	自由民主党
第3分科会 (5名)	座長 阿部 昇 司	県政クラブ
	山科 朝 則	無所属
	小松 伸 也	自由民主党
	星川 純 一	自由民主党
	鈴木 正 法	自由民主党

（議長はフリーな立場で各分科会に出席）

公立高等学校及び県立中学校の入学選抜における学力検査及び
適性検査の解答用紙一斉点検調査の結果について

1 調査対象

- (1) 対象年度 平成 30 年度入学選抜
平成 29 年度入学選抜
平成 28 年度入学選抜
平成 27 年度入学選抜（定時制 5 校のみ）
- (2) 対象校 公立高等学校 51 校（定時制 5 校、分校 4 校含む）
県立中学校 1 校 計 52 校

(3) 対象者数

	公立高等学校 学力検査受検者数		県立中学校 適性検査受検者数	合 計
	全日制(併設)	定時制		
平成 30 年度	6,300 人	124 人	222 人	6,646 人
平成 29 年度	6,789 人	99 人	238 人	7,126 人
平成 28 年度	6,763 人	116 人	265 人	7,144 人
平成 27 年度	—	125 人	—	125 人

2 調査結果

- (1) 本来は合格とすべきにもかかわらず不合格となっていた受検者 …… 1 人
(平成 30 年度)

(2) 採点ミスがあった学校数

	公立高等学校		県立中学校	合 計
	全日制(併設)	定時制		
平成 30 年度	32 校	1 校	1 校	34 校
平成 29 年度	42 校	1 校	1 校	44 校
平成 28 年度	42 校	2 校	1 校	45 校
平成 27 年度	—	1 校	—	1 校

① 学校名 (学校番号順)

	公立高等学校		県立中学校
	全 日 制	定時制	
平成 30 年度	山形東、山形南、山形西、山形北、山形工業、山形中央、上山明新館、山辺、寒河江、寒河江工業、谷地、左沢、東桜学館、北村山、新庄北、新庄南、新庄神室産業、米沢興讓館、米沢東、米沢商業、置賜農業、南陽、長井、長井工業、鶴岡南、鶴岡北、鶴岡中央、加茂水産、庄内総合、酒田東、酒田光陵、山形市立商業	霞城学園	東桜学館中
平成 29 年度	山形東、山形南、山形西、山形北、山形工業、山形中央、上山明新館、天童、山辺、寒河江、寒河江工業、谷地、左沢、東桜学館、北村山、新庄北、新庄北最上、新庄南、新庄南金山、新庄神室産業、新庄神室産業真室川、米沢興讓館、米沢東、米沢工業、米沢商業、置賜農業、南陽、高畠、長井、長井工業、荒砥、鶴岡南、鶴岡北、鶴岡工業、鶴岡中央、加茂水産、庄内総合、酒田東、酒田西、酒田光陵、遊佐、山形市立商業	霞城学園	東桜学館中
平成 28 年度	山形東、山形南、山形西、山形北、山形工業、山形中央、上山明新館、天童、山辺、寒河江、寒河江工業、谷地、左沢、東桜学館、北村山、新庄北、新庄北最上、新庄南、新庄神室産業、米沢興讓館、米沢東、米沢工業、米沢商業、置賜農業、南陽、高畠、長井、長井工業、荒砥、鶴岡南、鶴岡南山添、鶴岡北、鶴岡工業、鶴岡中央、加茂水産、庄内農業、庄内総合、酒田東、酒田西、酒田光陵、遊佐、山形市立商業	霞城学園 米沢工業	東桜学館中
平成 27 年度	—	霞城学園	—

② 件数別学校数

(単位：校)

	件 数 区 分					合 計
	0	1～9	10～19	20～29	30～	
平成 30 年度	18	24	9	0	1	52
平成 29 年度	8	26	13	1	4	52
平成 28 年度	7	20	21	2	2	52
平成 27 年度	4	1				5

(3) 採点ミスの件数

	件 数
平成 30 年度	253 件
平成 29 年度	429 件
平成 28 年度	510 件
平成 27 年度	2 件

① 教科別件数

(単位：件)

	国語	社会	数学	理科	英語	合 計
平成 30 年度	39	57	33	79	45	253
平成 29 年度	99	111	69	75	75	429
平成 28 年度	75	164	56	109	106	510
平成 27 年度	1	1	0	0	0	2

※ 県立中学校の適性検査の採点ミスについては、その出題内容に応じて、教科に振り分けている。

② 内容別件数

(単位：件)

	正誤	配点・記載	集計等	転記	合 計
平成 30 年度	92	110	49	2	253
平成 29 年度	237	135	57	0	429
平成 28 年度	279	162	69	0	510
平成 27 年度	0	1	1	0	2

※1 正誤 正答、誤答または部分点を誤って採点したもの等

※2 配点・記載 誤った点数を配点または記載したもの等

※3 集計 小計等の集計を誤ったもの等

※4 転記 解答用紙の得点を、科目別の個人別点数集計表に転記する際、誤って記載したもの等

(4) 採点ミスのあった受検者数 (実数)

	件 数
平成 30 年度	242 人
平成 29 年度	406 人
平成 28 年度	485 人
平成 27 年度	2 人

① 採点ミスの影響による点数別受検者数 (単位：人)

採点ミスの 影響による点数	…	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	…	
平成 30 年度		1			2		3	3	14	38	65	2	65	22	20	3	2	1					1	
平成 29 年度							3	9	24	54	101	3	117	63	20	7	3	1		1				
平成 28 年度								4	28	59	111	6	144	74	43	12	2	1					1	
平成 27 年度										2														

※ 受検者 1 人に複数箇所の採点ミスがある場合、それらを合計した点数を用いています。

3 採点ミスの例

(1) 正誤

- ① 誤答を正答とした。
- ② 正答を誤答とした。
- ③ 漢字間違いによる誤答を正答とした。
- ④ 漢字の誤字があるにもかかわらず、減点していなかった。
- ⑤ 記述問題で部分点が合っていなかった。
- ⑥ 選択問題の記号に誤りがあり誤答を正答とした。

(2) 配点・記載

- ① 正答に、配点と異なる点数を記載した。
- ② 2 回目もしくは 3 回目の採点時に正誤を訂正したが、当該問題の点数を訂正しなかった。
- ③ 誤答に対し、誤って正答としての配点を記載した。
- ④ 解答が空欄にもかかわらず、誤って正答としての配点を記載した。

(3) 集計等

※ 学力検査問題は、以下の構成となっている。

<大問> ①、②、……、

<小問> 1 (1)、(2)、……、2 (1)、2 (2)……、

問 1 (1)、(2)、……、問 2 (1)、(2)、……、等

- ① 小問の点数を合計し、大問の点数を計算する際、計算を誤った。
- ② 大問の点数を合計し、得点を計算する際、計算を誤った。
- ③ 大問の点数を計算する際、2 回目採点時に訂正した小問の得点を含まなかった。
- ④ 記載した点数を計算に含まなかった。

(4) 転記

- ① 解答用紙の得点を、科目別の個人別点数集計表に転記する際、点数を誤記載した。

以 上

平成30年5月17日
教 育 庁

小学校教諭の逮捕事案について

1 被疑者

村山市立富並小学校 教諭 加賀 世貴（かが せいき） 53歳、男性

2 事案の概要

- 被疑者は、平成30年4月29日（日）午後5時30分頃、山形市嶋南のディスカウントショップにおいて、スカートを着用した買い物中の女性の臀部を動画撮影し、山形県迷惑行為防止条例違反の容疑で逮捕された。
- 被疑者の身柄は、平成30年5月1日（火）に山形地方検察庁に送検され、現在勾留中である。